

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年3月5日

事業所名 ADDS Kids1st荻窪

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	1人1つのお部屋で実施している。集团はお部屋ではなく、廊下を区切ってスペースを保って実施している。	
	② 職員の配置数は適切である	10	0	一人の職員が一人のお子さんを見られる人数になっている。兄弟等がきても別のスタッフがみることができる。／法令に則り、児発管管理者が適切に管理をしてくれていると感じます。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	トイレのスリッパを置く位置など。／棚が設置されており、強化子が見やすい環境になっている。ドアは横にスライドする式で、段差もない。	玩具棚が子どもがアクセスできないのが本望は望ましい気がする 改善内容・改善目標 →来年度以降ドアの設置などを安全面を踏まえ検討してまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	毎日、清掃と消毒を行なっている。／毎日掃除を行い、清潔を保っている。お子さんが好きな強化子を準備し、棚があるため床には強化子を行いようを実施することができる。	不潔さは感じられないが、壁紙の剥がれやマットの色落ち(?)、ソファカバーなど改善の余地がある／トイレの蛇口付近の壁紙が痛んでいるため、なんらか対処したい。 改善内容・改善目標 →事業所内の設備点検を定期的に行い、安全に関わるものから優先して対応するなど対策を取っていきたくと考えております。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	毎回のセラピー終了後に振り返りをかき、できたことやこういふ時どうしたらいいのかなどを確認する。／支援についてSvが定期的に入って確認できている。	個々のセラピーでは指導もあるが、全体としてどのようなことをしているのかを知らない。 改善内容・改善目標 →支援についてのPDCAサイクルは各職員がスーパーバイザーと振り返りを行うなど対応していますが、運営面などは常勤のみで話し合いが行われることもあるため、全体に関わるものなど必要に応じ情報共有や意見を求める範囲を広げたいと考えております。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	事業所評価アンケートをGoogleフォームにて実施している。／管理者筆頭で毎年真摯に受けとめ、努めている。	どのようなことをしているのか知らない。 改善内容・改善目標 →保護者向けのアンケートの回数が年度で限られているため、職員の勤務の状況・入職時期に応じて周知できていないことがあるようです。今後、アンケート結果の掲示など保護者向けの取り組みをすべての職員に周知できるよう心がけていきます。

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1		先日、入職したばかりのため、まだ見たことがない。 改善内容・改善目標 →自己評価及び保護者評価の回数が年度で限られているため、実施とホームページでの公開が職員の勤務の状況に応じて周知できていないことがあるようです。今後公開したタイミングで職員により広く周知していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		改善内容・改善目標 →第三者評価の仕組みについて知らない職員がいたため、無回答が多かった可能性が考えられます。今後実施の可能性について内部で検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	虐待等の研修に加えOJTで支援に入り課題の進め方や対応方法を共有している。／シェアタイムや定期的にSVがはっている。／年々整備されている	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	バイランドIIを保護者を取る機会を設けている／ADDSのアイバックがまさにそうだと思う	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	個別支援計画は意識して課題を進めている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	支援担当スタッフは適宜他のスタッフに相談、定期的にスーパーバイザーからの助言を受けている。	どのように立案されているのか、そのプロセスを知らない。 改善内容・改善目標 →プログラムを立案する職員と実施する職員が分かれている場合があり、プロセスの共有ができていなかったのかもしれない。プログラムの立案自体は適宜職員同士で相談を行ったり（その中で実施適宜担当者に意見を求めています）、スーパーバイザーに相談して行っているのですが、実施する職員にも立案のプロセスやプログラムの意図などをさらに説明するようにしていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0		
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0			

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	必要に応じ担当者同士で確認を取っています／個別支援中心のため、適宜行っている。／当日時間確保が難しい時は、前日や出勤日にもって確認をする様に心がけています。／引き継ぎも行っている。／支援前、その日とは限らないが、必要に応じて実施している	事前の打ち合わせは、必ず実施している様子は見られない。／個別支援が主であるため、毎回の開始前にチームでの打ち合わせは行っていない。 改善内容・改善目標 →主に個別支援で一人の職員が担当することが多いため開始前の職員間の打ち合わせを必須とはしていませんが、支援の質を保てるよう定期的にスーパーバイザー含め担当者間で引継ぎや打ち合わせをする機会を積極的に設けております。支援開始前に疑問点があれば解消できるよう、声掛けなど行っていきます。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	必要に応じ担当者同士で確認を取っています／毎回ではないが、一定の頻度で行っている。経験や状況に応じて振り返りの頻度を調整しており、毎回行うこともある。／当日時間が取れない場合は、職員と振り返り時間を確保可能な日時を確認し、要点をまとめて共有できるように心がけています。／口頭での振り返りが難しい場合、書面にて確認している。／シェアタイムやセラピーの様子、保護者の要望等を共有している。／終了後、その日とは限らないが、必要に応じて実施している／個別支援が主であるため、毎回終了後に会議を行うことは少ないが、集団指導や複数のスタッフが参画するプログラムの場合には振り返りを行っている。また、定期的にスーパーバイザーと振り返りの機会を設定している。	支援終了後、毎回打ち合わせはしていない。 改善内容・改善目標 →主に個別支援で一人の職員が担当することが多いため開始後の職員間の打ち合わせも必須とはしていませんが、個人で支援の振り返りを行い、支援の質を保てるよう定期的にスーパーバイザー含め担当者間で引継ぎや打ち合わせをする機会を積極的に設けております。支援後に次回の支援に向け疑問点があれば解消し改善に努められるよう、声掛けなど行っていきます。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1		計画の見直しをどのようなプロセスでしているかわからない。 改善内容・改善目標 →モニタリングの回数やタイミングの関係により、職員の勤務の状況・入職時期によってはプロセスについてまだ周知でいていない部分があるようです。計画の見直しの際に職員の意見を求める機会があるため、今後OJTで伝えていきたいと考えています。

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		サービス担当者会議が何を指しているのかわからない。 改善内容・改善目標 →相談支援事業所とのやり取りは原則、児発管、支援担当者、支援の指導担当のいずれかが行うようにしておりますが、職員の勤務の状況・入職時期によってはサービス担当者会議に触れる機会がない場合があるようです。事業所としてOJTで、サービス担当者会議や通所支援以外の障害福祉サービスについての理解も深められるように指導していきたいと考えています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1	必要に応じ保育園等と電話やzoomを使い情報共有を行っている。	まだ連携が頻繁とは言えないが、保育園との連携事例が増えている。 改善内容・改善目標 →お子様やご家族のサポートにおいて非常に有用であると実感しているため、機会を増やしていきたいです。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	0		改善内容・改善目標 →事業所として重症心身障害のあるお子様特化した支援を行っておらず受入数が少ないこと、医療的ケアの必要なお子様の受け入れがないことか無回答が多くなっていると考えられます。今後ご家庭のニーズに応じ、関係機関連携を行っていきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	0		改善内容・改善目標 →事業所として重症心身障害のあるお子様特化した支援を行っておらず受入数が少ないこと、医療的ケアの必要なお子様の受け入れがないことか無回答が多くなっていると考えられます。かかりつけの病院と連絡先の把握はしていますが、連絡を行ったことはこれまでにないため今後連絡体制の構築などを検討していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	移行支援として行った例はないが、適宜保育園等と情報共有を行っている。	どのように実施されているのかわからない。 改善内容・改善目標 →今後該当する利用者がいた場合、移行支援としての情報共有を行っていただけるように体制を整えていきたいと考えています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2	家庭のニーズがあれば就学する児童の情報共有のシートを作成し、就学先に渡している／ご家族からのニーズがあれば、サポートブック等の作成を行っている。／保護者から希望があった場合に、就学前のお子さんに対しては情報共有の書類を作成している。退所後にも、お子さんが周囲との良い相互作用の中で成長していけるよう、具体的な対応と、お子さんの可能性を感じられる内容になるよう心がけている。	どのように行っているのかわからない。 改善内容・改善目標 →小学校や特別支援学校への移行支援は時期が年度末に集中しやすく、職員の勤務の状況・入職時期によってはまだ周知できていなかったようです。就学前の時期を担当している職員には特に、支援の中で就学後のお子様のためになる情報を収集・整理していけるようより一層伝えていきたいと考えます。

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3	年数回、こども発達センター主催の研修に出席している	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7		要望も特にないと思う 改善内容・改善目標 →今後ニーズがあった場合に、対応していきます。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	6		あまり機会がない。/機会があるか不明 改善内容・改善目標 →今後、参加を検討してまいります。
	㊱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		
	㊲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	0	ご家庭につき1回は受ける仕組みになっている。/全家庭が利用するプログラムになっている	
保護者への説明責任等	㊳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		
	㊴	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0		
	㊵	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	事業所内相談支援を行っている。	
	㊶	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2	先輩パパママ講演を企画し、情報共有の場としている。	定期的に行う全体研修を通じて、なるべく保護者同士で情報を共有するきっかけづくりに努めている。交流を主な目的にした機会はないため、ニーズに応じて対応できたらと思う。 改善内容・改善目標 →今後ニーズに応じて対応していきます。
	㊷	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	㊸	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2	メールや掲示物、法人としての活動報告書で発信している。	
	㊹	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0		
	㊺	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1		
	㊻	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	9		私が把握できていないだけだと思います。申し訳ございません。/地域との交流は今後の課題として、検討したい。 改善内容・改善目標 →個人情報や施設の安全性の面で難しい部分もありますが、地域に開かれた事業を行うための情報収集から運営を検討していきます。

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1		周知しているが、もう少し徹底する必要があると考えている。 改善内容・改善目標 →今後、周知するマニュアルの種類を増やしていきたいと考えております。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0		予防接種については把握していない。 改善内容・改善目標 →保護者の方と通所する個別支援で支援時間が短時間であることもあり、これまで予防接種については確認を取っていませんでしたが、今後把握の必要性などを話し合い確認を検討していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	あれば対応する／食事の機会がないため指示書の確認はしていないが、アレルギー有無は利用時に確認し、口にするもの触れるものについては保護者に同意を得ながら支援を進めている。	
	④⑤	ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1		
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。